

製品名: Pax-9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15798**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	PAX9
別名	PAX9; Paired box protein Pax-9
遺伝子 ID	5083.0
SwissProt ID	P55771
免疫原	抗血清はヒト Pax-9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 158-207

背景

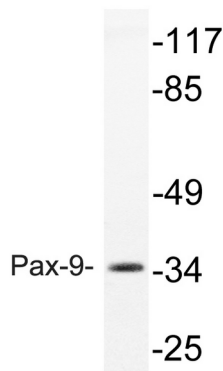
この遺伝子は、転写因子のペアボックス (PAX) ファミリーのメンバーです。この遺伝子ファミリーのメンバーは、通常、ペアボックスドメイン、オクタペプチド、およびペア型ホメオドメインを含みます。これらの遺伝子は、胎児の発達と癌の増殖において重要

な役割を果たします。この遺伝子を欠損したマウスは、臓器、筋肉、骨格の発達障害（歯の欠損または異常な発達、新生児致死など）を示します。ヒト遺伝子の変異は、選択的歯無形成症-3と関連しています。[RefSeq 提供、2015年9月]、疾患：PAX9の欠陥は乏歯症の原因です[MIM:604625]。これは家族性または選択的歯無形成症の一種です。乏歯症は、関連する全身疾患を伴わずに6本以上の永久歯が欠損している状態と定義されます。1本以上の歯の欠損は、ヒトにおける最も一般的な発達異常の1つです。報告されている発生率は、人口の20%に発生する第三大臼歯（親知らず）無形成症を除いて、1.6%から9.6%の範囲です。機能：胸腺、副甲状腺、鰓後体、歯、頭蓋骨と喉頭の骨格要素、および遠位四肢の正常な発達に必要な転写因子です。類似性：1つのペアドメインを含みます。サブユニット：KDM5Bと相互作用します。

研究分野

ドメインファミリー; 発達ファミリー PAX; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; 転写因子

画像データ



Pax-9 抗体を使用したラット心臓溶解液のウェスタンブロット分析。



Pax-9 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。